

| | | | |
|---|--|-------------|-----------|
| 科目名 | | 腎臓学特論 | |
| 科目責任者 | 片岡雅晴 | (第2内科学 教授) | |
| 担当者 | 宮本哲 | (腎センター 准教授) | |
| 開講時期: | 1～2年次 | 単位数: | 6 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 45 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>腎臓は体液の恒常性を保つために重要な臓器である。その機能について理解を深め、各病態における腎臓の関わりを把握できる。腎臓の障害および腎臓での代償などを考え、治療への理解または新しい治療について考察する。また、高血圧症における腎臓の関わりについて理解できる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 糸球体濾過に影響する因子を説明できる。 2) 尿細管における水分調節を説明できる。 3) 尿細管におけるナトリウム, カリウムなどの電解質調節を説明できる。 4) 尿細管における酸塩基平衡に関する機能を説明できる。 5) 尿細管機能検査について説明できる。 6) AVP、ANP・BNP、RAAS系などの内分泌因子の腎臓への作用について説明できる。 7) 自律神経系の腎臓への作用について説明できる。 8) 利尿剤の採用部位, 作用機序について説明できる。 9) 糸球体障害をおこす疾患・病態について簡単に説明できる。 10) 腎障害をおこす薬剤について造影剤を中心に簡単に説明できる。 | | | |
| ● 評価方法 | プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 講義の中で必要に応じ紹介する。 | | |

| 授 業 項 目 (内 容) |
|------------------------|
| 腎臓の発生・解剖 |
| 腎臓の病理 |
| 糸球体濾過および尿細管機能 |
| 腎臓に作用するおよび腎臓が産生する内分泌因子 |
| 神経系と腎臓 |
| 高血圧症における腎臓 |
| 腎臓の循環動態(画像および検体検査) |
| 急性腎傷害(AKI) |
| 腎代替療法(血液透析・腹膜透析など) |
| 心腎連関 |
| 腎臓と貧血 |
| CKD-MBD |